

あかいか漁場調査

(抄録)

油野 晃・今村 豊

漁 況

2002年度において八戸港へ水揚げされたアカイカは8,651トンで、2001年度の15,649トンのほぼ半分にまで減少した。月別の漁獲量で見ると、夏・秋期の水揚げ量が極端に少なかったものの、2月以降は昨年度並みの水揚げ量にまで回復した。初漁期(5~6月)における北太平洋沖合(東経170度以東)での漁場形成は散発的であったが、秋期(9~11月)の調査では道東沖において分布密度の高い海域を確認した。1月には三陸沖で漁場が形成されはじめ、2月にはいつてからも金華山沖で漁場形成が続いた。

漁場調査

2002年5月~11月に西経175度以西の海域において、試験船開運丸(208トン)及び試験船東奥丸(140トン)でアカイカの漁場調査を実施した。調査は5、9、10(2回)、11月の計5航海にわたって行い、120調査点での海洋観測と、53調査点での釣獲試験を行った。アカイカの総漁獲尾数は10,647尾、CPUEは0~66尾台であった。

・第1次調査(開運丸第1次航海) 5月8日~6月6日 30日間

39調査点での海洋観測と、18調査点での釣獲試験を行った。18操業点中14点でアカイカが採集され、総採集尾数は443尾、CPUEは0~3尾台であった。

・第2次調査(開運丸第2次航海) 8月29日~9月13日 16日間

59調査点での海洋観測と、19調査点での釣獲試験を行った。19操業点中15点でアカイカが採集され、総採集尾数は3,180尾、CPUEは0~9尾台であった。

・第3次調査(東奥丸第1次航海) 9月10日~19日 10日間

18調査点での海洋観測と、7調査点での釣獲試験を行った。7操業点中7点でアカイカが採集され総採集尾数は2,242尾、CPUEは0~58尾台であった。

・第4次調査(東奥丸第2次航海) 10月8日~18日 11日間

13調査点での海洋観測と、7調査点での釣獲試験を行った。7操業点中4点でアカイカが採集され、総採集尾数は4,782尾、CPUEは0~66尾台であった。

・第5次調査(東奥丸第3次航海) 11月17日~20日 4日間

2調査点での海洋観測と釣獲試験を行った。2調査点全てでアカイカは採集されなかった。

発表誌：平成14年度いか釣漁場開発調査資料28号及び平成14年度外洋性イカ(スルメイカ・アカイカ)に関する生物測定・標識放流・海洋観測結果基礎資料集 青森県水産総合研究センター